



アサギマダラとヒョウモン
(資料館周辺にて)



長野県 青木村

信州昆虫資料館

INSECT MUSEUM OF SHINSYU

展示標本に自然の驚異を感じ
古今の文献に観察の妙を学ぶ
林間の遊歩道を辿れば
生きた昆虫との出会いがあり
眼下の景観にも癒される



養蚕展示コーナー



6月は春蚕を飼育しています。蚕が桑の葉を食べながら終齢幼虫になり、繭を作るところをタイムリーに観察できます。繭から糸を採る体験会も。

館内案内

1F ▶ ロビー、図書室

2F ▶ 標本展示室、山田靖昆虫画ギャラリー、栗田貞多男写真ギャラリー、講義室

BF ▶ 標本展示室、資料室、企画展フロアー



案内図
ACCESS GUIDE

開館期間・営業時間

◆ 4月中旬～11月中旬 10:00～17:00 (11月は16:00まで)

休館日

◆ 毎週火曜日(天候により休館することがあります)

入館料

◆ 300円(中学生以下無料)

交通アクセス

上信越自動車道 上田菅平ICから(車で約45分)

長野自動車道 麻績ICから(車で約30分)

北陸新幹線 上田駅下車(車で約40分)

※上田駅より千曲バスにて青木バスターミナル下車ターミナルから当館までの交通手段はございません。タクシー等をご利用ください。 **大型駐車場完備**



ヒメギフチョウ



画・山田 靖

長野県 青木村

信州昆虫資料館

INSECT MUSEUM OF SHINSYU



〒386-1601

長野県小県郡青木村大字田沢 1875-6

TEL.0268-37-3988 Fax.0268-37-3964

URL: <http://www.vill.aoki.nagano.jp/>





★ロビー、2F、階下展示室ご案内

日本、東南アジアや中南米など世界のクワガタ・カブトムシ・チョウ各種の展示。北海道から沖縄まで250種の蝶の展示（内149種は長野県で見られるチョウ・但し天然記念物は除く）。長野県で見られる甲虫各種・蛾・トンボ・アブ・ハチ・ハエなどの展示。山田靖昆虫絵画展示室・栗田貞多男チョウの写真ギャラリー。

昆虫展示室

★フリースペース

企画展示を中心に、希望者に貸しギャラリーとして提供（詳細はお問い合わせ下さい）。



ベニシジミ

ゴマダラカミキリ



東南アジア、中南米ほか、外国産蝶も展示しております。

昆虫資料館周辺



オオムラサキ幼虫

オオムラサキ蛹

オオムラサキ成虫

夜間観察会

野外観察会

青木小4年生見学会



館周辺

十観山

セミの羽化直後

新緑とツツジ

青木保育園夏の遠足

パラグライダー



企画展示室



講義室



昆虫雑誌・文献・論文閲覧室



ロビー

昆虫画の作家
山田靖常設展示室



虫は不死の生をせむに。
一寸の虫に相かひるものあり。
しかもちんちん生をせむに。
自然のつくられたものは、手直しはしない。
わしは、戦争は嫌だ。病に合はぬは、いや。
絵は、無事な生をせむに。

大正 7 山口県玖珂郡周東町に生まれる。
昭和16 第2次世界大戦に応召。のちに福岡の衛生下士官となる。
昭和20 終戦により復員、農業に従事。本格的に絵を描き始める。
平成 6 自宅前に私費で小さな「昆虫美術館」を開設。
平成18 高齢となり、多くの作品の行方を追う。氏の作品が中国新聞に載る。
平成19 縁あって拝見に尋ねた信州昆虫資料館が、劣化した作品を補修する。
平成22 昆虫画を信州昆虫資料館に寄贈する。8月、館内に山田靖昆虫画展示室が完成。
入院先の病院にて永眠。93歳。
のちに自宅前の昆虫美術館は、ご子息山田継信氏らにより地域の「やすらぎ館」として再生。
農具や暮らしの道具などの展示と、山田靖氏の民族画や農村風景画などの展示で、寄り合い場として温かい空間となる。

昆虫図書館



ハチ展示
コーナー

館創設者小川原原雄氏によるハチ研究コーナーや、県内で見られるハチ各種の標本、界限で見つかったキイロスズメバチの大きな巣の様子が見られます。別コーナーでは、日本・外国のアシナガバチ、スズメバチ、マルハナバチなど展示。



チョウの写真家
栗田貞多男
ギャラリー



略歴 1946年長野市生まれ。
チョウと山・川など自然をテーマに写真を撮り続けている。
主な著書に『千曲川』『ゼフィリスの森』（日本鱗翅学会第3回江崎賞受賞）『黒部渓谷』『信州百水』『オオムラサキ』『ギフチョウ』など。
クリエイティブセンター主宰。
JPS日本写真家協会、日本昆虫協会、日本蝶類科学学会会員。